

令和5年度の重点課題

「体を動かすことの好き・嫌い」アンケートでは、「やや嫌い・嫌い」が男子18.2%、女子は8.3%いた。昨年度と比較すると、男子は大きく増えてしまい、女子は13.9%も運動嫌いが減っている結果となり男女差が大きいことがわかった。このことは新体力テストの結果ともつながっており、男子は、「立ち幅跳び」「ボール投げ」において平均値より劣っているが、女子はすべての種目で平均値を上回っていた。

したがって年同様、運動好きの児童を増やすための取り組みを中心に取り組み、運動嫌いの傾向を示す児童の割合を男子、女子とも10%程度にすることを重点課題とした。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 10月に昼休憩と掃除の時間を使い、全校で鬼ごっこ(名称:東小中)を保健体育委員会で企画し実施した。
- 11月に2週間、長縄週間を設定し、クラスごとに回数や伸びしろを記録して表彰を行った。
- 体力づくり推進通信を発行し、体育の授業改善に向けて情報を提供した。
- 職員対象の体育授業で使える、実技研修を行った。
- 地域のスポーツ団体を招き指導してもらった。

今年度

- 縄跳び台の設置をすることで、多くの児童が縄跳びに取り組むようになった。
- 新しい一輪車を設置し、今まで以上に子供たちが取り組める機会を増やすことが出来た。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.55	20.40	37.55	45.75	52.05	9.50	169.45	21.00	56.00	第5学年	14.95	14.29	41.00	36.18	25.29	10.10	145.33	14.00	49.65

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.55	20.40	37.55	45.75	52.05	9.50	169.45	21.00	56.00	第5学年	14.95	14.29	41.00	36.18	25.29	10.10	145.33	14.00	49.65

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	66.67	33.33	0.00	0.00	第5学年	40.91	59.09	0.00	0.00

学校独自の意識調査

【令和5年度の5年生児童(現6年生)との比較】

○本年度の特徴的なことは、運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」を選択した児童が男女ともに0%であるということだといえる。どこまで信ぴょう性があるかは疑問符が付くかもしれないが、間違いなく運動好きの児童が増えたことは間違いのないといえる。今までの取り組みの成果が現れたといえそうである。ただ、運動能力が向上したかという視点で見ると、必ずしも体力が向上したとはいえず、今後の推移を見ていく必要があると考える。

重点課題

情意面での課題

運動やスポーツをすることが「嫌い・やや嫌い」を選択した児童は、男子・女子ともに0%であった。どこまで信ぴょう性があるかは疑問符が付くかもしれないが、間違いなく運動好きの児童が増えていることには疑いはないと思われる。今までの取り組みの成果が現れてきているのではないだろうか？今後も引き続き取り組んでいきたい。

体力面での課題

運動好きの児童は増えたが、それにもなって体力面も向上したかといえ、いくつかの課題はありそうである。昨年度の記録と比較すると特に女子の課題が目立つ。男子は、「握力」「50m走」で記録が下がっていたが、そのほかの種目では記録を上回ることが出来ていた。女子は昨年度との比較は「長座体前屈」のみ、昨年との比較では「ボール投げ」のみ上回ることができた。

令和7年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることがやや嫌い、嫌いと応える児童の割合を男子・女子ともに10%以内にする。
- 外遊びの企画や学級で取り組める計画を実施し、体育の授業を充実させることで、運動好きの児童を増やし、体力の向上を図る。
- 「50m走」「握力」「ボール投げ」「立ち幅跳び」といった項目に課題があるので、県平均値かつ全国平均値を上回るようにする。
- 地域のスポーツ団体などからの講師を積極的に招き、指導してもらうことで児童の意欲向上を図る。
- 遊びの中で体力づくりを進めていけるよう、多様な遊びができるよう工夫して取り組む。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 基本的に昨年と同様の取組みをすることで運動好きの児童を増やしたい。
- 体力づくり推進通信を発行し、体育の授業改善に向けて情報を提供する。
- 「短距離走」「障害走・ハードル走」「マット運動」など。
- 教職員対象のマット運動指導の実技研修を行う。
- 地域のスポーツ団体(廿日市サンブレイズ)を招き指導してもらおう。

体育の授業以外で行う取組内容

- 基本的には、遊びの中で体力づくりをしていくことを取組の主な内容とする。
- 11月に昼休憩と掃除の時間を使い、全校でドッチボール大会を保健体育委員会で企画実施する。
- 12月に2週間、長縄週間を設定し、クラスごとに回数や伸びしろを記録して表彰を行う。
- 縄跳び台や一輪車の使用を推奨する。
- クラス遊びでの体育館使用を推奨する。
- ちよこっつと体力づくりコーナーの設置。立幅。握力。ジャンプ。投運動。など